

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山県新庄村にある「中ノ谷横穴墓」を新庄小と新庄中の児童生徒が見学しました。記事を読み、質問に答えましょう。

新庄小・中生 古墳時代の「中ノ谷横穴墓」見学



新庄村内で2年前に発見された古墳時代の有力者の墳墓「中ノ谷横穴墓」が発掘調査されたのを受け、同村の新庄小と新庄中の児童生徒が見学に訪れた。貴重な副葬品などを通して、千数百年もさかのぼるふるさとの歴史に思いをはせた。(中村啄也)



横穴墓は、山の斜面に横から穴を掘った構造の墓で、古墳時代後期に盛んに造られた

中ノ谷横穴墓の玄室内で解説する四田主事

ふるさとへの歴史思いはせ

鉄刀出土解説に興味津々

新庄小5、6年生と新庄中の全生徒の計約30人が5月23日に現地を見学。村教委が発掘調査を委託された県古代吉備文化財センターの小嶋善邦総括副参事と四田寛人主事から「鉄刀があったことから、埋葬された人は地域で有力な兵士だった可能性がある」などと解説を受け、玄室内を熱心にのぞき込んでいた。

2年藤井一輝さん(13)は「遺物からどんな人が埋葬されたかを推測できて面白い。大昔に山の斜面を掘って墓を造った人たちの技術はすごいと思う」と話した。

とされる。中国地方では山陰を中心に多くあるが、岡山県内では一般の古墳に比べて少なく、約50基が知られている。同村では2020年2月、村役場から約1.5km南の山中で森林作業道の整備中に初めて発見され、中ノ谷横穴墓と名付けられた。

同横穴墓は遺体を納める「玄室」(約5・5平方メートル、高さ約1・2メートル)や、玄室に続く通路「墓道」の跡などが残る。玄室内からは人骨のほか、鉄刀(長さ約90センチ)や須恵器のふた、小刀の一部などが出土した。7世紀に築かれたとみられる。

中ノ谷横穴墓を見学する新庄中生ら

2日付山陽新聞、作州ワイド版

Q1 「中ノ谷横穴墓」は横穴墓という形をしています。横穴墓は中国地方では山陰を中心に多く、岡山県内では一般の古墳に比べて少ないとされています。岡山県内では、約何基が知られていますか。

Q2 中ノ谷横穴墓の遺体を納める「玄室」からは、どんなものが出土しましたか。第3段落をよく読み、答えましょう。

Q3 岡山県古代吉備文化財センターは、どんな人がこの墳墓に埋葬された可能性があるとしていますか。第4段落の言葉で答えましょう。

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。